

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 5

NO.163 2019.5.17 発行 TOWN KYOTAMBA

みーつけた！



2-4ページに掲載

- 02 特集 わち山野草の森
- 05 ぐらしのガイド
- 06 人の動き
- 08 生涯学習通信
- TOMORROW
- 11 安心ほっと便り
- 12 いきいき健康術
- 14 まちの話題

いたるところに
癒しが

わち山野草の森 植物総覧マップ

自然体感 癒しの場所を 求めて



わち山野草の森は総面積12ヘクタール、東京ドーム2.5個分の広大な森林公園施設で、本町の四季折々の自然が満喫でき、めずらしい草花や樹木に出会うこともできます。

小川のせせらぎ



心地よい
せせらぎの奏で

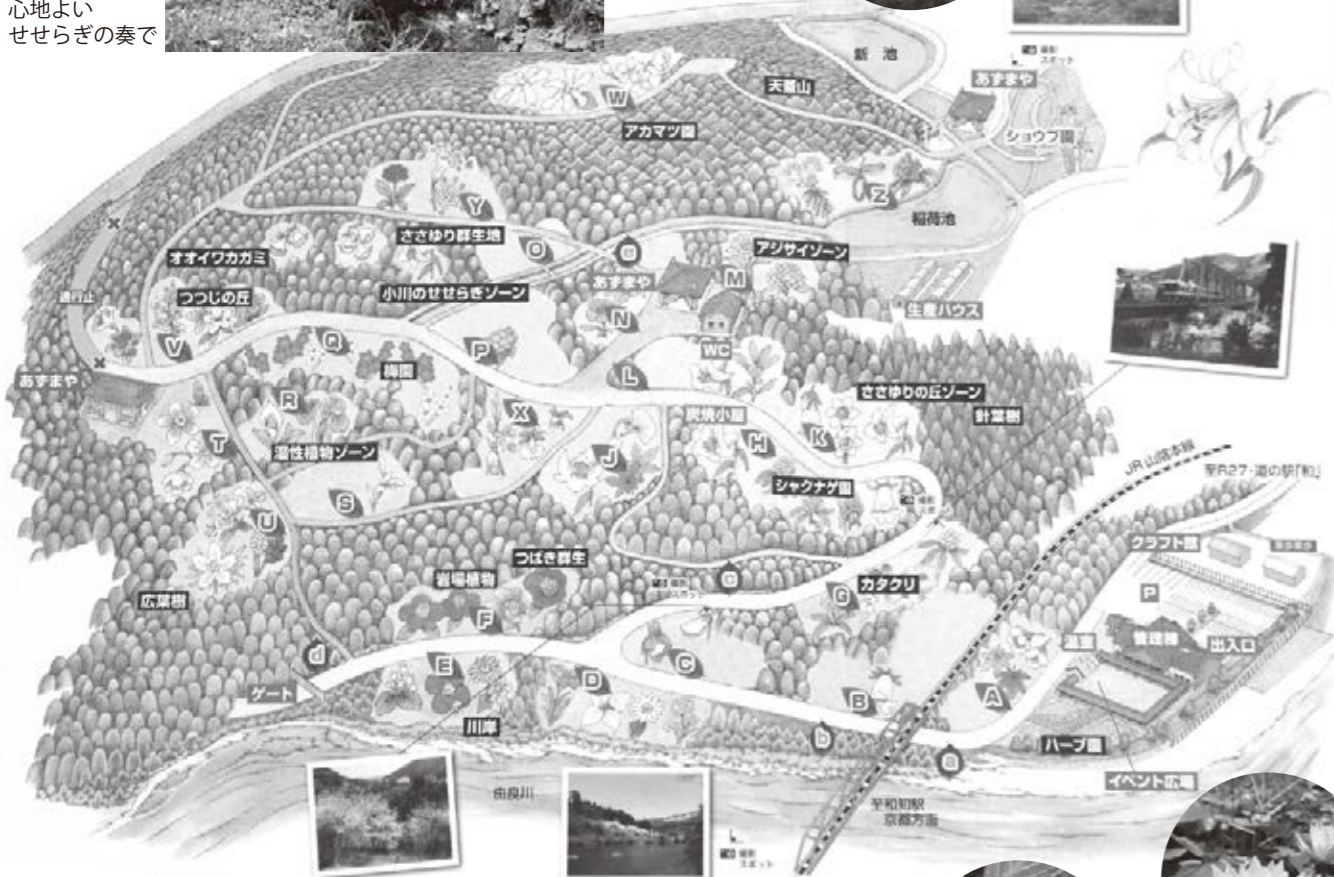
園内で5月から
6月にかけて見られる
花の一部を紹介



▲ササユリ



ホタルブクロ▲



また、園内にはJR山陰本線が通り、電車の撮影スポットもあります。お気に入りの一枚を撮ってみてはいかがでしょうか。



ゆったりとした時間が
流れる場所

わち山野草の森は平成10年10月に開園。公園内には山野草の森を代表する「ササユリ」や本町の花や木の「ツツジ」や「イチヨウ」をはじめ、900種類を超える草花や樹木、果樹などの植物が生育し、季節ごとに違った景色で来場者を迎えてくれます。



山野草の
魅力とは

山野草に魅了された山田園長

一般社団法人和知ふるさと振興センターわち山野草の森の山田義法園長は、野の花めぐりのガイドを行うほど山野草に詳しく、山野草に魅了された一人です。「年間通してさまざまな山野草が息づいているが、特に今の季節(春)は、山野草が生長して芽吹いていく力強さを感じられます。あと、秋の紅葉も欠かせませんね」と山野草の魅力語り、「草花を見る人や自然の条件によってそれぞれ感じ方が違うのが面白いですね」と語る山田さん。

わち山野草の森を代表するササユリは旧和知町の花で、6月が見ごろになります。昔は、田舎の里山に自生していましたが、香りがとてもいいこともあり獣に食べられてしまい、今では自生している姿は見られなくなっています。6月1日、2日にはそんなササユリが見られる「ささゆりまつり」が開催されます。見て香りを体感してみてくださいいかがでしょうか。



▲スイレン
▲ナツツバキ



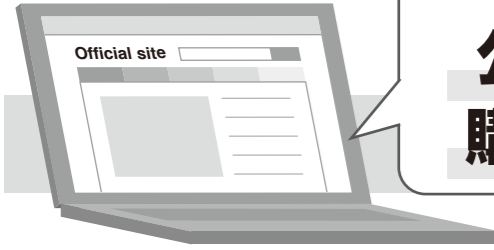
サクラのじゅうたんと木のいす

園内の休憩スペースに
見つけた癒し



テーブルの上に
松ぼっくり?





チケットは
公式サイトで
購入しましょう

チケットの
不当な
高額転売が
禁止に!

事例 1

「値段が高くて良い席で見たい」、「どうしてもチケットが欲しい」と思い、チケット転売サイトで購入。当日会場に行くと、転売チケットであることを指摘され入場できなかった。

アドバイス 1

公式サイト以外で購入したチケットや、高い代金を払って購入した転売チケットは無効とみなされ入場できない可能性があります。

事例 2

SNSで知り合った人からチケットを譲ってもらうことになった。代金を振り込んだあと連絡が不通になった。

アドバイス 2

知らない相手との取引は、代金を振り込んだのにチケットが届かないなど、さまざまなリスクがあります。

TICKET
トラブルを防ぐために気をつけること

- 定価で売買できる正規のリセールサイトを利用しましょう。
- チケットの価格やキャンセルに関する情報を確認しましょう。
- チケットの転売条件に関する情報を確認しましょう。

チケットの高額転売などを禁止するため、2019年6月から「チケット不正転売防止法」がスタートします。
①チケットを不正転売すること、②チケットの不正転売を目的としてチケットを譲り受けることが禁止されます。違反した場合は、1年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金、またはその両方が科されます。業者だけでなく個人でも、反復継続の意思をもって販売価格を超える価格でチケット転売がされれば、「不正転売」となり罰則の対象になります。

演劇やコンサート、スポーツ(ラグビーワールドカップ2019日本大会や、2020年東京オリンピック、パラリンピック)のチケットなどは、公式サイトで購入しましょう。

5月は消費者月間です

「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～」をテーマに、消費者が安全・安心に過ごす社会の実現に向け、さまざまな取り組みがされます。

『消費生活相談窓口』 京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先 ※メールでの相談はお受けしていません。

京丹波町消費生活相談窓口
電話：0771-82-3803
相談日：水・木曜日

南丹市商工課内
電話：0771-68-0100
相談日：月・火・金曜日

南丹市の相談窓口も
利用していただけます。

1人で悩まず、
気軽に相談して
ください。



園長の説明を聞く参加者



園内を散策

わち山野草の森は、年間を通してさまざまなイベントを行っており、今年度から新たに「もりまつり」が開催されました。4月13日、14日に行われた「もりまつり2019」では、町内外から訪れた人たちが園内で楽しいひと時を過ごしました。イベント広場では、園内で採れた山菜の天ぷらなどが販売されたほか、来場した子どもたちと一緒に園内で採れた「ヨモギ」を使って餅つき大会が行われました。また、園長のガイドで「野の花めぐり」が行われ、普段目にするのではない草花や花の豆知識などを紹介してもらいながら園内を一周しました。参加した家族らは園長との会話を楽しみながら、森林の静かで澄んだ空間に身を置いていました。

もりまつり
2019

公園案内

入園料

大人(中学生以上) 310円/小学生210円
(15人以上の団体一人当たり大人250円・小学生170円)
子育て支援パスポートなどの呈示で割引があります。

開園時間

午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)

休園日

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌水曜日)
12月29日～1月4日までは休園

問い合わせ

わち山野草の森 電話:0771-84-2041
ホームページ: <http://www.ktb.zaq.ne.jp/gfals309>



体験する



苔玉教室の様子

古木や流木を使った寄せ植えや植物のつるを使った編みかごづくりなどの教室や、木工ラフトや苔玉づくりの教室を随時開催しています。興味のある方は、参加してみたいかがでしょうか。

人の動き

新しい年度を迎え、町内の役員、委員が
変更され、新たな体制で活動しています。



区長さんお世話になります

区長

丹波地区

- 【笹尾】今西陽一
- 【中畑】小林 茂
- 【辻村】松谷 基
- 【中村】水谷和彦
- 【下村】小峰正男
- 【鎌倉】三野忠史

瑞穂地区

- 【西階】原澤 好
- 【水戸】西垣吉裕
- 【新水戸】石原克次
- 【須知】滝口博信
- 【市森】田端晴範
- 【上野】岩本清一
- 【蒲生】野口文雄

和知地区

- 【蒲生野】岩崎教之
- 【曾根】岩崎雅寛
- 【院内】中野 守
- 【幸野】林 和明
- 【森】小林辰夫
- 【塩田谷】小栗喜代司
- 【安井】猪田晴夫
- 【富田】小山新也
- 【豊田】北村英男
- 【上豊田】福井彰一郎
- 【実勢】森 茂樹
- 【下山】藤田 昭
- 【グリーンハイツ】小畑 薫

交通指導員(任期二年)

- 【中大】山内主明
- 【橋爪】稲元幹生
- 【和田】稲元靖之
- 【井脇】上西文治
- 【大朴】友金健司
- 【井尻】下川 満
- 【八田】高畑庄三
- 【小野】谷内誠樹
- 【長谷】柴田繁雄
- 【坂井】上田眞道
- 【水原】長谷川博文

和知地区

- 【北久保】山内哲夫
- 【中山】西田和志
- 【升谷】野口耕平
- 【市場】若林幸一

消防団

新入団員

- 【予防啓発部】
笹田伸子



消防団入退団式の様子
(蒲生野中学校体育館)

【丹波支団】

- 牧野寿雄・野田大輝・徳島 詢・北村卓大・崔本勝幸・渡邊龍二・井上孝之・中尾泰典・小森紳次
- 【瑞穂支団】
谷川 徹・塙 峻典・高橋慎也・伏原章悟・細川靖尚・高橋宏弥・山田 司・渡辺晋平・小岸達也
- 【和知支団】
小西達也・藤本和磨・川邊弘太・吉田蒼史・宇野貴哉・早川公雄

退 団 者

- 【予防啓発部】
堀 真心
- 【丹波支団】
小谷誠之・吉田 聡・田口晃貴・村山直史・今井浩基
- 【瑞穂支団】
上田智也・熊原隆行・野村良夫・上田真一・上田健之・川田了一
- 【和知支団】
山口好信・松下 勇・山口 靖・稲澤信夫

交通指導員(任期二年)

- 小谷誠之(中畑) 吉岡晃代(上豊田)
- 野田佐都美(鎌倉) 森内 博(実勢)
- 西原悠紀(水戸) 山内秀文(下山)
- 平尾隆幸(須知) 川合芳章(グリーンハイツ)
- 岡 秀樹(須知) 庄林 誠(中台)
- 井関仁志(市森) 吉田保夫(井尻)
- 小川昭広(蒲生野) 中 幸次(上大久保)
- 河瀬正良(幸野) 小川大啓(水原)
- 猪阪義人(富田) 岬 建三(栗野)
- 細見樹生(豊田) 上林 篤(三ノ宮)

社会教育委員(任期二年)

- 中野 昭(豊田) 猪田浩和(蒲生)
- 太田明平(橋爪) 折竹禮子(和田)
- 澤井安子(質美・行佛) 松野美代子(井脇)
- 高柳秀文(本庄) 江本範子(下栗野)

食生活改善推進員(任期二年)

- 小山敬子(富田) 竹内裕子(上乙見)
- 水嶋真弓(質美・上野) 梅原恵美子(小畑)
- 野瀬千鶴子(富田)
- 松木豊子(鎌谷中)

※新しくお世話になる皆さん、よろしくお願ひします。

教職員の異動

退職

- 須知幼稚園 園長 西村 喜代美
- 丹波ひかり小学校 校長 日下部 進
- 下山小学校 校長 平井 隆
- 蒲生野中学校 校長 畑山 晃一郎
- 和知小学校 教頭 中川 俊夫
- 竹野小学校 養護教諭 長谷川 幸代
- 下山小学校 教諭 松本 正治
- 蒲生野中学校 教諭 西垣 一也
- 瑞穂中学校 教諭 安村 一彦
- 和知中学校 教諭 矢木 満夫

転出()は転出先

- 須知幼稚園 主任 堀 敬之(土木建築課管理係長)
- 竹野小学校 教諭 下和田 奏(和知小学校)
- 教諭 片井 敬(南丹教育局)
- 丹波ひかり小学校 教諭 長尾 朋美(竹野小学校)
- 教諭 藤原 有里絵(下山小学校)
- 教諭 古田 千鶴(瑞穂小学校)
- 下山小学校 教頭 中舎 良希(下山小学校校長)
- 教諭 堀川 裕香(和知小学校)
- 瑞穂小学校 教頭 田中 敏夫(和知小学校校長)
- 教諭 西條 直浩(丹波ひかり小学校)
- 教諭 竹嶋 綾美(竹野小学校)
- 教諭 和田 愛(本梅小学校)
- 教諭 木村 友幸(府保健体育課)
- 養護教諭 前谷 祐子(殿田中学校)
- 事務職員・主任 仙波 尚子(精北小学校)
- 和知小学校 校長 藪本 好央(丹波ひかり小学校校長)
- 教諭 橋 康生(下山小学校教頭)
- 教諭 吉井 利一(下山小学校)

- 教諭 山内 理恵子(丹波ひかり小学校)
- 教諭 十見 澄代(府立丹波支援学校)
- 栄養教諭 安田 佳那子(吉川小学校)

蒲生野中学校

- 養護教諭 仲西 恭子(瑞穂小学校)

- 教諭 小森 葵(亀岡川東学園)
- 教諭 田中 啓介(瑞穂中学校)

瑞穂中学校

- 教諭 矢野 宗一朗(大成中学校)
- 教諭 栃下 雅世(美山中学校)

須知幼稚園

- 園長 津田 知美(子育て支援課長)

竹野小学校

- 教諭 竹嶋 綾美(瑞穂小学校)
- 教諭 長尾 朋美(丹波ひかり小学校)

事務職員・主事

- 西川 裕美(新規採用)

丹波ひかり小学校

- 校長 藪本 好央(和知小学校)
- 教諭 山内 理恵子(和知小学校)
- 教諭 西條 直浩(瑞穂小学校)

下山小学校

- 校長 中舎 良希(下山小学校教頭)

- 教頭 橋 康生(和知小学校)

- 教諭 藤原 有里絵(丹波ひかり小学校)
- 教諭 吉井 利一(和知小学校)

瑞穂小学校

- 教頭 下村 敦(府社会教育課)
- 教諭 古田 千鶴(丹波ひかり小学校)
- 教諭 三井田 佳那(豊里小学校)
- 教諭 河上 麻由美(城西小学校)
- 養護教諭 仲西 恭子(蒲生野中学校)

和知小学校

- 校長 田中 敏夫(瑞穂小学校教頭)
- 教頭 名倉 洋一(八木西小学校教頭)
- 教諭 鈴木 順(新舞鶴小学校)
- 教諭 下和田 奏(竹野小学校)
- 教諭 堀川 裕香(下山小学校)
- 教諭 岡村 貴之(南丹教育局)

蒲生野中学校

- 校長 井戸 仁(須知高校副校長)
- 養護教諭 河合 雛子(新規採用)
- 教諭 平井 浩一(須知高校)
- 教諭 平井 真奈(新規採用)

瑞穂中学校

- 教諭 田中 啓介(蒲生野中学校)

和知中学校

- 事務職員・主事 杉原 有加莉(新規採用)

「ふるさと人形展」

3月30日から4月7日まで、質美にある「みずほ人形の家みやび」で、第28回目を迎える「ふるさと人形展」が今年も盛大に開催されました。

旧暦の「桃の節句」に合わせ、毎年開催されており、府内の家庭から寄贈を受けた各種の人形が一堂に展示されました。あでやかな着物姿にすまし顔の「雛人形」をはじめ、にぎやかな七福神を模した「土人形」、よるいかぶとに刀を持った勇ましい「五月人形」、人形そのものに物語がある「饅頭食い人形」など、思い出とともに大切に受け継がれてきた約



2000体の人形が雅やかに並べられました。会場を訪れた人たちは、愛らしい人形たちとほっこりと心が和むひとときを過ごしていました。

展示期間中は、地元の人たちでつくる京丹波町ふるさと体験資料館運営委員会の皆さんが中心となり、会場の設営、見学者への説明、駐車場の案内などをお世話になりました。



「人権啓発推進協議会の視察研修」

3月12日、京丹波町人権啓発推進協議会の視察研修が行われ立命館大学国際平和ミュージアムと人権フィールドワークとして岡崎公園周辺を巡りました。この研修は、あらゆる差別のない社会の実現を目指



し、町民一人ひとりが互いを認め合い、差別もいじめもない明るく住みよい町づくりに向けた活動の一つで、委員10名が参加しました。

国際平和ミュージアムでは、満州事変から第2次世界大戦終戦までとそれ以降の戦争の実態について写真などの展示を見ながら、説明を受け戦争と平和や人権について学びました。

午後からは、京都府人権教育指導者の研修講師などを務めておられる渡辺毅先生と一緒に岡崎公園周辺を歩きながら、京都の町並みや社寺などから歴史や文化について説明を受け、幅広く人権について知識を深めました。

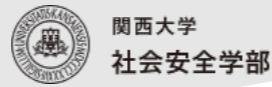


参加した委員からは「戦争について学ぶ機会が少なくなりましたが、今回平和ミュージアムで戦争は最大の人権侵害であることを感じました」などの感想ができました。



安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします



Series 05

Happy news
うれしい便り

関西大学・学長奨励表彰

学内で他の模範となり、さらなる活躍が期待される個人または団体を奨励する賞を、近藤ゼミが2年連続でいただきました。

京丹波町のみなさんのおかげです！
(後列中央が関西大学・芝井学部長)



2019年度の活動が
本格スタート
しました

太田町長を表敬訪問(2019.4.15.)

新シリーズ「安心ほっとステーション」は、京丹波町で防災の取り組みを進めている「身近なお手本」を紹介する「安心ほっとさん」や、消防や警察とコラボした「安心ほっとライフ」などの企画を主軸として、思い新たにスタートを切りました。須知高校の生徒さんたちとも楽しく取り組んでいます。ご期待ください！



Learn New Zealand 第2回

ブランドンのニュージーランド紹介



ブランドン・ハリソンさん
京丹波町
スポーツ国際交流員

第2回は、**ニュージーランドの食文化など**
について紹介します

HANGI(ハンギ)って知ってますか？

ニュージーランドでは、マオリ民族の文化が食文化にも影響しています。ハンギは、土に穴を掘り、底に焼けた石を入れて、籠を置いて、そこにフラックスという大きな葉っぱに包んだ魚や鶏肉、さつまいもなどを入れ、包んで上から土をかけ、埋め戻します。すると、焼けた石の熱が保たれ、食材に伝わり、3~4時間でおいしい料理ができ上がります。まるで地中のオープンのようなもので、とてもおいしいです。



ニュージーランド発祥のスイーツ「パブロバ」

ニュージーランドの人はパンが好きで、町中どこに行ってもパン屋さんがあります。サンドイッチやパイなどの種類も多く食生活の中心になっています。また、スイーツも豊富で、キーウィはニュージーランド産として、世界中に出荷されており、日本でも有名です。みなさん、食べた



ことがあるでしょうか？もちろん、国鳥のキーウィ(KIWI)にちなんだ名前です。さらに、卵の白身を混ぜて、メレンゲにして甘く味付けし、フルーツと合わせたケーキ「パブロバ」が有名です。また、「ホーキポーキー」というアイスクリームはニュージーランドが発祥と言われています。

バンジージャンプもニュージーランド発祥！！

実はあのバンジージャンプもニュージーランドが発祥の地です。足をロープで結び、高いところから飛び降りるスポーツで、とても怖く、勇気がいります。ニュージーランドでは、高い橋の上から飛び降りる名所があり、毎日、観光客でにぎわっています。



社会教育・文化・スポーツ団体などの生涯学習に関する問い合わせ先

京丹波町教育委員会 社会教育課 TEL:84-0028 FAX:84-2100
丹波分室 TEL:82-0988 FAX:82-1717
瑞穂分室 TEL:86-1150 FAX:86-0859

京丹波町のいじめを含む教育相談専用電話

(京丹波町教育委員会内)TEL:84-2188【直通】

受付時間 午前8時30分~午後5時
※土、日、祝日は除く

こんにちは
赤ちゃん
Happy Smile



いわさき みやび
岩崎 雅ちゃん
(曾根/H30.4.21 生)
「健やかに強く優しく
賢い子に育ってね!」
朋寛・美帆子



たにがわ なごみ
谷川 和ちゃん
(中台/H31.1.8 生)
「いつも家族を和ませ
てくれてありがとう。
優しい子に育ってね。」
徹・結

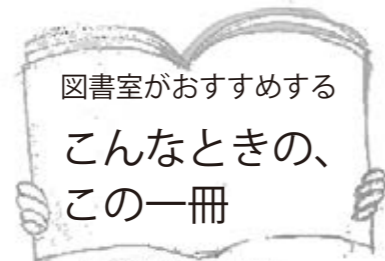
「こんにちは赤ちゃん」
コーナー申し込み募集

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に
生後1歳未満のお子さま(申
込方法)お子さまの顔写真
に申込書を添えて、役場また
は支所まで、持参・郵送・
メールのいずれかで届けて
ください。申込書は役場本
庁、支所、瑞穂保健福祉セン
ターにあります。

【問】

京丹波町企画財政課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



図書室がおすすめする
こんなときの、
この一冊

昭和50年からテレビ放送されたむかし
ばなしが60冊のうすい小さな絵本になっ
ています。昔の人がどんな家に住み、何を
食べ、どんな生活をしていたのか。勇気や
信頼、好奇心、正直者はむくわれるがズル
をするとばちが当たるなど、子どもから大
人まで共通の大切なことを知ることができます。新しい時代に突入しても
なお、語り継がれるべきお話の数々を楽しんでみてください。

『まんが日本昔ばなし』
全60話 童音社



(松山公民館図書室 谷澤智子さん)

図書室のご案内

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時~17時 ※11時30分~12時30分までの間、 昼休み(閉室)となります。	9時~17時	9時~17時	9時~17時	9時~17時
松山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506		14時~17時			14時~17時	14時~17時	14時~17時	第2、第4土 13時~17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時~13時				第1、第3土 9時~13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター) 図書室				第2、第4火 13時~17時				第2、第4土 13時~17時
質美公民館(質美振興センター) 図書室				第2、第4火 13時30分~ 17時30分				第2、第4土 13時~17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時~17時 ※11時30分~12時30分までの間、 昼休み(閉室)となります。	9時~17時	9時~17時	9時~17時	9時~17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで



いきいき健康術 第141回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『乳幼児健診でよくある相談』

一瀬 栄佑 医師 国保京丹波町病院(火曜日外来担当) 小児科



今回は、健診の際に良く受ける質問などについて説明します。

● 赤ちゃんの哺乳

赤ちゃんの1回の哺乳時間
が長すぎず(大体30分未満)、
飲んだ後2~3時間程しっかり
眠っていれば、十分哺乳できて
います。逆に、哺乳時間が長く、眠っても1~2時間
ほどで泣いて起きてくる場合は、足りない可能性が
あります。体重増加が良くない状態が続くと脳や身
体の発達が妨げられてしまいます。哺乳量が足りて
いない場合は産院などで母乳相談をするか、直母
を早く切り上げてミルクを足すなどしてください。



● 発達

赤ちゃんの大きな運動発達の指標として、3~
4カ月でくびがすわる、5~6カ月で寝返り、8~9カ
月でハイハイ、1歳頃にひとり立つ、といわれてい
ます。個人差もありますが、筋力が非常に弱い、前に
できたことができなくなった、などがあれば迷わず
小児科にご相談ください。気になる身体の動きや症
状がある場合は、スマートフォンなどで動画や写真
を記録していただけると大変参考になります。また、
言葉の発達に関しては耳の聞こえが非常に大切で
るので、音に対する反応が鈍い様子があれば、早め
に耳鼻咽喉科にご相談ください。

● 皮膚症状

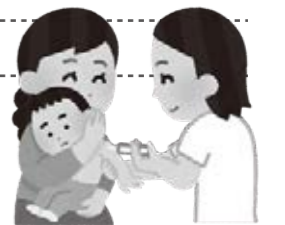
赤ちゃんは、お腹にいる時にお母さんから移行し
た女性ホルモンの影響で、顔を中心に発疹が出るこ
とがあります。これは乳児湿疹といい、石けんの泡
で優しく洗うなどのスキンケアで生後半年ほどの内
に自然に良くなることが多いです。皮膚がはがれて
いる、ジュクジュクしている場合は、塗り薬で皮膚の
状態を良くしたほうが良いこともありますので、小
児科・皮膚科にご相談ください。

● 目やに、鼻づまり

身体が小さい間は、目と鼻をつなぐ鼻涙管や鼻の奥
が狭く、目やにが出やすい、鼻の奥がフガフガ鳴る、と
いうことはよくあります。目やには目薬で改善するこ
とが多く、鼻づまりも哺乳ができていれば問題ありませ
ん。もし、目やにが全く改善しない・目の周りが赤く腫
れる場合は眼科に、鼻づまりで哺乳できない、胸や喉
元がペコペコとへこむ場合は小児科にご相談ください。

● 予防接種

予防接種は、後遺症をきた
す病気や治療法がない病気、
命に関わることを予防するも
のです。実際、肺炎球菌ワクチ
ン、ヒブワクチンのおかげで、化膿性髄膜炎になる
子どもは激減しています。予防接種には発熱や腫れ
などの副反応があり、心配する方もいらっしゃると思
いますが、副反応の症状は数日で自然に治まり、
本当に病気になった時に比べればはるかに症状は
軽く、予防接種により後遺症や危険な合併症を防ぐ
ことができます。



予防接種のスケジュールやその他のことでも、気
になることがあればぜひご相談ください。

町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。ご理解とご協
力をお願いします 京丹波町病院 電話 0771-86-0220

常勤医師の確保を目指して

医師住宅完成式

常勤医師を確保するために建築された医師住宅の完成式が3月20日、完成した住宅前(和田)で行われました。太田町長や町議会議員、病院の関係者ら20人が出席し、医師住宅の完成を祝いました。

医師住宅は、世帯用1棟と単身用2戸1棟でいずれも木造平屋建てで、国保京丹波町病院の近くに建築されました。完成式では、太田昇町長が「医師住宅を医師の確保の決め手として活用し、地域医療の充実につなげていきたい」とあいさつした後、京丹波町病院の垣田秀治院長が、「今年の4月から常勤の対応で専攻医が3カ月のローテーションで来ていただけるようになりました。医師住宅ができたことが医師の確保につながったと考えています。今後も京丹波町病院の人員の確保につながればうれしい」と謝辞を述べました。



医師住宅前で行われた完成式典

血管を若返らそう

フローアアップ教室

平成30年度までに実施した高血圧や糖尿病の予防教室に参加された方を対象に3月18日、山村開発センターみずほで、フローアアップ教室が行われました。

教室は、運動の知識を取り入れ、実践を行うことで生活習慣病の予防を図ろうと行われました。

教室では、講師にNPO法人J-HOPEの松井浩副理事長

を招き、「これならできる!血管と筋肉を若返らせる方法」と題して、実技を交えながら行われ、参加者は講師の話に耳を傾け、動きに注目しながら体を動かしました。参加者からは「とてもわかりやすく楽しかった」、「聞くだけでなく、実際に運動してより良くわかった」などの声が寄せられました。



松井さんの指導で体を動かす参加者

新入団員を迎え気持ち新たに

町消防団入退団および役員任命式

京丹波町消防団の入退団および役員任命式が4月1日、蒲生野中学校体育館で行われ、25人の新入団員を加えた消防団が、防災への誓いを新たにしました。

式では、栗林英治団長が新たに部長と班長になる団員や新入団員に任命書を交付しました。新入団員を代表して藤本和磨さん(和知支団)は「良心に従い忠実に消防義務を遂行します」と宣誓しました。



初任者訓練で技術を習得する新入団員

また、退団者には辞令交付の後、太田町長が長年の功績に謝辞を述べました。

4月13日には、三ノ宮グラウンドで初任者訓練が行われました。

参加した新入団員は、敬礼や脱帽などの礼式訓練やホースの延長や結合などの器具の取扱訓練を行い、消防団員としての必要な基本的知識と技術を学びました。

なお、表彰受賞者は次の皆さんです。



栗林団長から任命書を受け取る新入団員

【京都府知事表彰】

永年勤続功労章

太田康之(副団長)

精励章

山西義幸(分団長)

岡 秀樹(同)

谷山勝彦(同)

松見浩二(副分団長)

細見和浩(同)

中尾 弘(同)

【公益財団法人日本消防協会会長表彰】

功績章 西村孝之(支団長)

勤続章

江本勝行(部長)

藤本直之(班長)

坂部俊光(団員)

湊 博之(同)

上田真二(同)

大西義弘(同)

橋野 茂(同)

山口雅敏(同)

大田耕一(同)

正田浩之(同)

※階級は表彰時点のものです。(敬称略)

観光の追い風に

道の駅「京丹波味夢の里」におけるホテル建設に関する調印式

道の駅「京丹波味夢の里」に隣接する町有地を活用したホテルの建設に向け3月29日、不動産会社「積水ハウス」などで構成する合同会社と本町が借地契約を締結しました。

高速道路のパーキングエリアに隣接するホテルの建設は、京都府内で初めてとなります。

ホテル建設は、今年8月に着工し、来年10月の完成を見込んでいます。ホテルは、延べ床面積約2,700㎡の3階建てで、75部屋あり、1室あたり約24.85㎡。共有部分のロビーやラウンジ、ダイニング、キッチンなどを備えています。

京丹波町役場で行われた調印式には、太田昇町長と積水ハウスの栗崎修一開発事業部トリップベース事業推進室長が出席し、町有地の借地契約書に調印しました。栗崎室長は、「人が集まる拠点としてホテルを生かしていきたい。地域の発展や活性化に期待したい」と話しました。



調印した契約書を持つ太田町長(左)と栗崎室長(右)

訂正とお詫び

広報京丹波4月号の15ページ「わたしたちの町」において誤りがありましたので訂正し、お詫び申し上げます。

誤

「男 6,708」「女 7,373」

正

「男 6,701」「女 7,380」

ふるさと応援寄付金のお礼

片山 山治 10万円
豊田 きみ子 1万円

*掲載内容は寄付者の了解を得ています

わたしたちの町

人口 14,073 (-8)
男 6,711 (+10)
女 7,362 (-18)
世帯数 6,297 (+5)
5月1日現在/()は前月比



宣誓を述べる新入生(和知中学校)



歓迎の歌を聞く入所児(みずほ保育所)



緊張した面持ちの新入生(下山小学校)

新生活をスタート
入学式・入所式

町内の小・中学校、保育所、幼稚園でそれぞれ入学・入所・入園式が行われ、新入生が新たな環境での生活を始めました。

4月10日には3つの中学校で88人が入学。義務教育最後の3年間のスタートを切りました。

このうち、17人が入学した和知中学校では、新入生を代表して榎木文余さんと瀬野はるかさんが「和知中学校の生徒として自覚と誇りを持ち、3年間自分のもてる力を磨き努力することを誓います」と、中学校生活へ向けての決意を述べました。

このほか、4月5日には町内3つの保育所で63人、4月9日には5つの小学校で74人、4月11日には須知幼稚園で13人が新たな集団生活のスタートを切りました。